身近な生き物さがし

千葉市 いきものミニ図鑑

2019 ～ 2022 年度の「身近な生き物さがし」において、皆さんからレポートされた主な生き物を区ごとにとりまとめました。

花見川区

ヤマユリ B

ツユクサ

ヒグラシ C

ホシベニカミキリ C

コサギ B B

シマヘビ C B

稲毛区

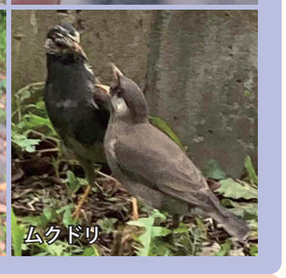
クロマツ

コシアキトンボ C

ショウリョウバッタモドキ C

ヤマトシジミ

ナガサキアゲハ


ムクドリ

美浜区

ヤツデ

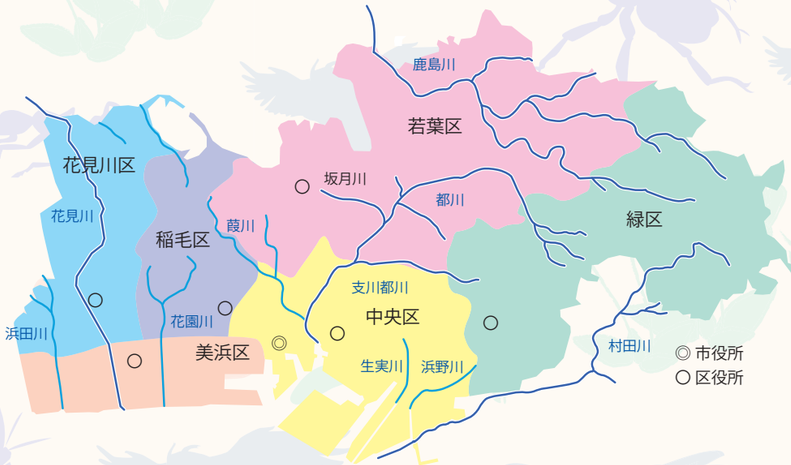
アブラゼミ

ヨツスジトラカミキリ

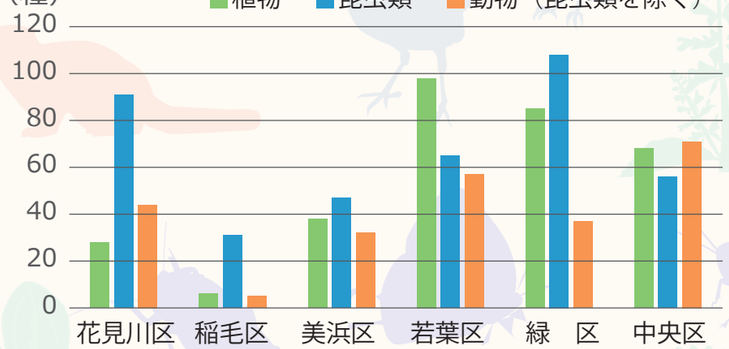
コチドリ B B

コアジサシ VU A B

ジョロウグモ



区ごとのレポート種数



レッドリストのカテゴリー（生き物名の後の記号）

環境省（2020）

絶滅（EX）、野生絶滅（EW）、絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）、絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT）、情報不足（DD）、絶滅のおそれのある地域個体群（LP）

千葉県（植物・菌類 2017）

消息不明･絶滅生物（X）、野生絶滅生物（EW）、最重要保護生物（A）、重要保護生物（B）、最重要･重要保護生物（A-B）、要保護生物（C）、一般保護生物（D）、保護参考雑種（RH）

千葉県（動物 2019）

消息不明・絶滅生物（X）、最重要保護生物（A）、重要保護生物（B）、要保護生物（C）、一般保護生物（D）

千葉市

消息不明・絶滅生物（X）、最重要保護生物（A）、重要保護生物（B）、要保護生物（C）

若葉区

タコノアシ NT C

ツリフネソウ B

ニホンカワトンボ C A

モクズガニ D A

ギバチ VU B A

ニホンアカガエル A A

緑　区

ホトトギス B

ヤマホタルブクロ

ホソミオツネントンボ B

クルマバッタ

シロスジカミキリ A

メジロ C

中央区

アキノタムラソウ

オオシオカラトンボ

ショウリョウバッタ

サビシラトリ NT B X

オオバン C C

タヌキ B

千葉市環境局 環境保全部 環境保全課 自然保護対策室

花見川区

①ヤマユリ
日本特産のユリです。夏に大きな白い花を咲かせ、甘く濃厚で強い香りを漂わせます。林の周りなどで見られます。

②ツユクサ
夏から秋に鮮やかな青い花を咲かせます。昔から花の汁は染料に利用されてきました。

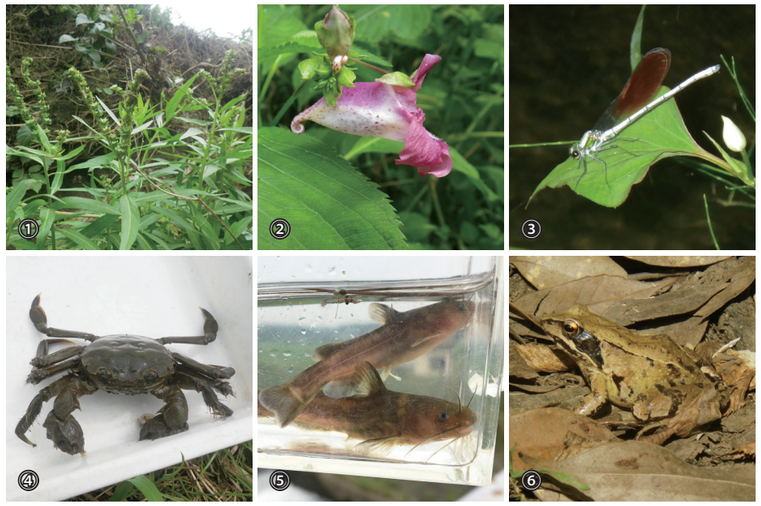
③ヒグラシ
「カナカナカナ」と鳴くセミで、成虫は初夏から夏の終わりにかけて見られます。

④ホシベニカミキリ
黒い斑点のある赤いカミキリムシで、成虫はタブノキやクスノキなどの葉を食べます。初夏から夏の終わりにかけて見られます。

⑤コサギ
小さいシラサギで、一年を通じて河川などの水辺で見られます。足指が黄色いのが特徴です。

⑥シマヘビ
茶色地に黒い縦縞が目立つ無毒のヘビです。幼体は成体とは全く別の色・模様をもちます（写真は幼体）。春から秋にかけて、草地や農地などで見られます。

若葉区



①タコノアシ
夏から秋にかけて白っぽい小さな花を咲かせます。休耕田や湿地などで見られます。

②ツリフネソウ
夏から秋にかけて帆掛け舟を吊り下げたような赤紫色の花を咲かせます。水辺などで見られます。

③ニホンカワトンボ
水のきれいな小川などに生息するトンボで、成虫は春から夏にかけて見られます。

④モクズガニ
毛がびっしりと生えたはさみをもつ大型のカニです。河口から河川上流の広い範囲に生息します。

⑤ギバチ
河川上流に生息するナマズの仲間です。水生昆虫やエビなどを食べます。

⑥ニホンアカガエル
茶色～赤茶色のカエルで、草地や樹林に生息します。早春から春のはじめ頃に、卵塊（寒天質に包まれた卵）を水田などの浅い湿地に産みます。

稲毛区

①クロマツ
常緑の針葉樹で、海岸近くで多く見られます。風雪に強く、古くから防風林として植栽されました。

②コシアキトンボ
腹部にある白色～黄色の斑紋が特徴です。樹林と隣接する池沼などに生息し、成虫は春から秋にかけて見られます。

③ショウリョウバッタモドキ
頭から胴体にかけて真っすぐ伸びているのが特徴的なバッタです。成虫は夏から秋にかけて見られます。

④ヤマトシジミ
幼虫がカタバミを餌にする小さなシジミチョウです。成虫は春から秋にかけて見られます。

⑤ナガサキアゲハ
南方系のアゲハチョウの仲間で、温暖化に伴い北上を続けています。成虫は春から秋にかけて見られます。

⑥ムクドリ
全身が黒みがかった茶色で、眼の周りから頬は白く、くちばしと脚は黄色です。市街地の街路樹などをねぐらとします。

緑　区

①ホトトギス
秋に赤紫色～青紫色の斑点模様がある花を咲かせます。林の周りなどで見られます。

②ヤマホタルブクロ
初夏から夏にかけて赤紫色～白色の花を咲かせます。林の周りなどで見られます。

③ホソミオツネントンボ
成虫で越冬するトンボです。抽水植物が繁茂する池沼や湿地に生息し、夏頃に羽化した時は茶色ですが、越冬して春になると青色に変わります。

④クルマバッタ
後翅に黒い帯模様があり、飛んでいるときに車輪が回っているように見えます。草地に生息し、成虫は夏から秋にかけて見られます。

⑤シロスジカミキリ
日本で最大のカミキリムシのひとつです。全身がほぼ灰色で、上翅にある黄色い筋模様は死んだ時に白くなります。春から夏にかけて見られます。

⑥メジロ
眼の周りの白い縁取りが名前の由来です。市街地や公園、林などで見られます。

美浜区

①ヤツデ
暗い林床などに生える常緑低木で、秋の終わり頃に白い花を咲かせます。

②アブラゼミ
茶色い翅が特徴のセミで、「ジリジリジリ」と鳴きます。成虫は夏に見られます。

③ヨツスジトラカミキリ
ハチのような見た目をしたカミキリムシです。シイカシ林などに生息し、成虫は夏から秋にかけて見られます。

④コチドリ
九州以北では夏鳥として渡来し、川岸などに小石を集めた巣を作って繁殖します。

⑤コアジサシ
日本には夏鳥として渡来するカモメの仲間です。河原や砂浜でコロニーを作って集団繁殖します。

⑥ジョロウグモ
雌の腹部には黄色と緑青色の縞模様、脚には黄色と黒の縞模様があります。林の周りなどに生息し、成体は秋に見られます。

中央区

①アキノタムラソウ
夏から秋にかけて青紫色の花を咲かせます。林やその周りで見られます。

②オオシオカラトンボ
若い時は黄色で、雄は徐々に灰色がかった青色に変わります（写真は雄）。樹林と隣接する湿地などに生息し、成虫は春から秋にかけて見られます。

③ショウリョウバッタ
全身が緑色もしくは茶色で、雄より雌の方が大きく、がっちりとしています（写真は雌）。雄は「チキチキ」と音を出しながら飛びます。草地で見られます。

④サビシラトリ
内湾の奥部や河口部の砂泥干潟に生息する二枚貝で、一年中見られます。

⑤オオバン
全身が黒く、額からくちばしが白い水鳥です。河川や沼、公園の池などで見られます。

⑥タヌキ
雑食性で、小動物や果実類を食べます。複数のタヌキが同じ場所に糞をする「ため糞」と呼ばれる習性をもちます。